

大規模降雨災害対策検討会 土砂災害分科会

1. 設立主旨

- ・本年 9 月 5 日から 6 日にかけて主に九州地方を襲った台風 14 号は、約 300 件に登る土砂災害を引き起こし、死者・行方不明者 22 名を含む甚大な被害を引き起こした。
- ・災害の特徴として、死者・行方不明者に占める土砂災害による被災者が多いこと、さらに被災者のうちに占める高齢者の率が高かった事が上げられる。
- ・また、大規模な降雨のために多数の土砂災害が発生したため、道路の寸断により集落の孤立化が発生するとともに、河道閉塞を引き起こすような大規模な斜面崩壊も発生している。。
- ・よって、中山間地域の土砂災害対策のうち、特に人命保護を優先する観点から、警戒避難体制のあり方について検討するとともに、集落の孤立化対策、大規模斜面崩壊の対応等について、有識者による委員会により集中的な検討を頂き今後の対策の指針を得るものである。

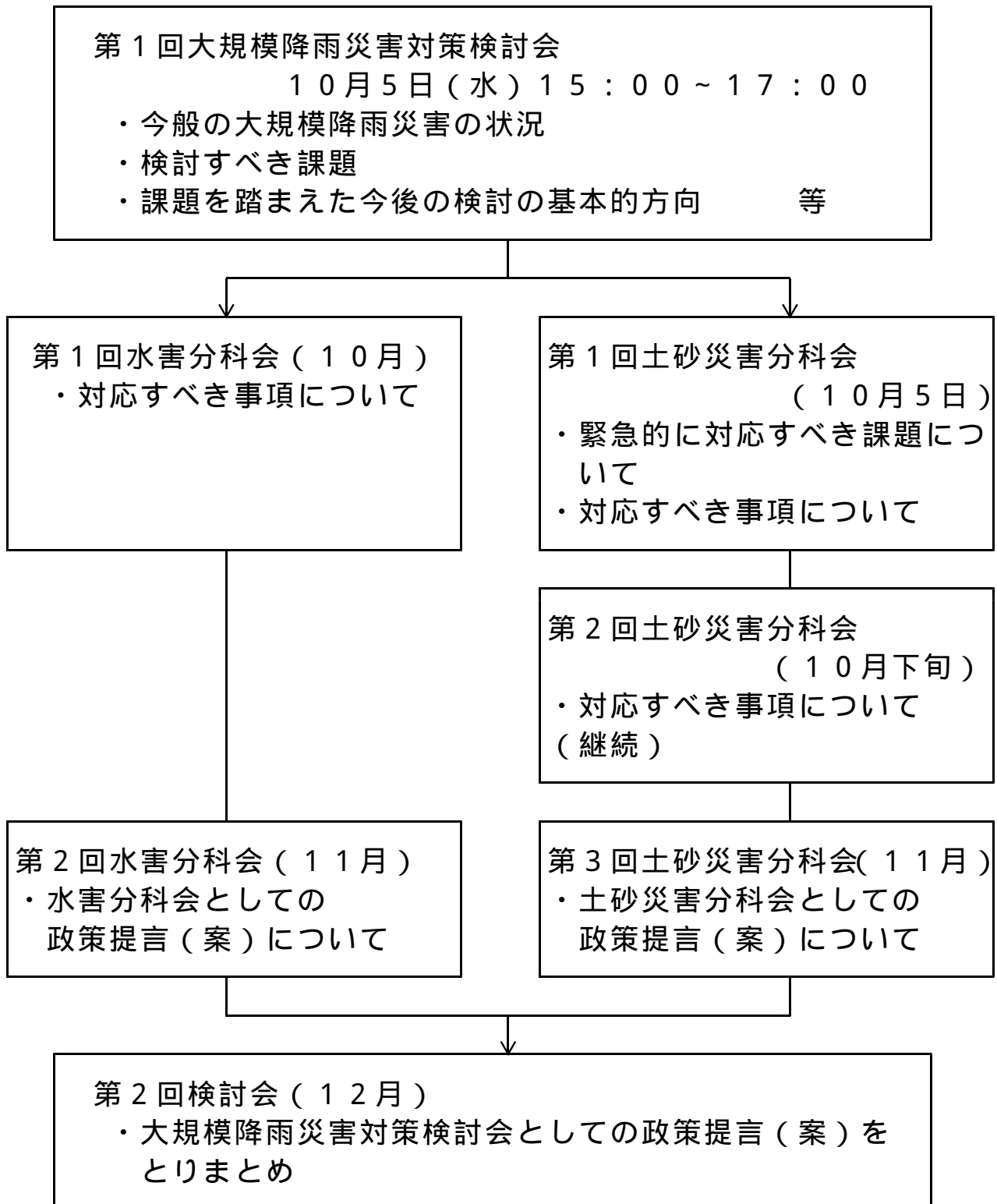
2. 主な検討課題（案）

- ・高齢化、過疎化の進展する中山間地域における情報収集・伝達のあり方
- ・過疎地域における高齢者等の災害時要援護者の保全のあり方
- ・災害発生前に避難勧告等が発出されるための方策
- ・集落の孤立化被害軽減のための地域保全のあり方
- ・大規模斜面崩壊に対する危機管理のあり方 等

3. 分科会開催スケジュール（案）

- 第 1 回分科会 10 月 5 日 緊急提案検討、課題と方策の検討
- 第 2 回分科会 10 月下旬 課題と方策の検討（続き）
- 第 3 回検討会 11 月 大規模降雨による土砂災害の対策に関する提言(案)

大規模降雨災害対策検討会の進め方



分科会は検討状況に応じて適宜実施
下水道都市浸水技術検討委員会と連携し
総合的な都市浸水対策を検討